報道関係者各位

2026 年 11 月 16 日

ストライプジャパン株式会社

Stripe、OpenRouter の買収を完了
AI 活用における収益とコストの最適化を支援
タスクの価値と採算性に基づく AI モデルの選択を支え、企業の持続的な成長を後押し



2026 年 11 月 10 日 (米国時間) サンフランシスコおよびダブリン発表 ―プログラマブルな金融サービスを提供する Stripe は、AI モデルの選択とトークン利用の最適化を支援する OpenRouter の買収を完了したことを発表しました。OpenRouter は、80 社以上のプロバイダーが提供する 400 以上の AI モデルをタスクに応じて動的に選択し、トークン利用の最適化を支援する世界最大級のプラットフォームです。

AI の活用が広がる中、企業には AI モデルの性能や利用コストだけでなく、AI が担うタスクの価値と採算性を踏まえた判断が求められています。Stripe が提供する価格設定・請求・決済の基盤と、OpenRouter のモデル選択・コスト最適化の基盤を組み合わせることで、企業が収益とコストの両面から AI 活用を最適化できるよう支援していきます。

推論コストの最適化は、単価からタスクの価値へ

今後、知識集約型の企業では、AI モデルを利用してタスクを実行するための「推論コスト」が、事業運営費の中で最も大きな割合を占めるようになっていくと見られています。コーディングエージェントや顧客対応ボット、不正検知では、それぞれ求められる能力や応答速度が異なり、タスク自体の価値に見合う支出額も異なってきます。企業には、単にトークンの利用コストを引き下げるだけでなく、現在の支出と今後の利用拡大を見据え、タスクの完了にかかるコストとその成果を総合的に評価することが求められます。

用途に応じて複数の AI モデルを使い分ける「マルチモデル」へ

すべてのタスクに最適な単一の AI モデルは存在しない中、AI 活用による成果を高めるには、タスクごとに能力・応答速度・コスト・信頼性のバランスを取りながら、適切なモデルを選択することが重要です。

世界中で新しい AI モデルが次々と登場し、価格改定も相次ぐ中、現在利用中の AI モデルに縛られず、事業上のニーズに合わせて AI モデルを切り替えられる柔軟性が必要となってきます。OpenRouter は、複数の AI モデルを横断して利用・管理できる中立的な基盤として、企業が用途に応じた AI モデルを選択し、継続的に見直せる環境を提供します。

収益とコストを結びつけ、AI 活用の採算性を高める

AI を活用する企業では、価格設定や請求と、AI 推論サービスの調達が別々に管理されることが多く、タスクごとの収益とコストを一体的に把握することが課題となっています。

AI 推論サービスの調達や連携制御、利用権限や支出の管理は、技術面だけでなく、事業の収益性と継続性に関わる経営課題となりつつあります。AI を利用する事業部・製品・顧客ごとに利用状況や支出を把握し、収益と結びつけることで、企業はタスクごとの採算性に基づいた判断を行いやすくなります。

Stripe と OpenRouter は、最も安価で高性能なモデルを選ぶだけでなく、企業がそれぞれのタスクに適した AI モデルを選択し、AI 活用による収益とコストを最適化することで、持続可能な事業運営につなげられるよう支援していきます。

#####

Stripe について

Stripe は、プログラマブルな金融サービスを構築する企業です。世界の何百万もの企業が Stripe を利用して、オンラインおよび対面での決済や組込型金融、収益モデルのカスタマイズを推進し、より収益性の高いビジネスを築いています。サンフランシスコとダブリンに本社を置く Stripe は、世界の GDP の 1.6% に相当する年間 1.9 兆ドル (約 300 兆円) 以上の決済を処理しています。AI とステーブルコインにフォーカスを置いた事業拡大と研究開発への投資を通じて、Stripe はグローバル経済における最先端技術の普及に貢献しています。

詳しくは https://stripe.com/jp をご覧ください。